



加藤 元の



と暮らして
みませんか

35

しなやかさの秘密

とれるのは、脊椎の関節がしなやかにできているためです。

そのうえに、猫はおなかの部分が胸の部分よりも長く、腹腔内の臓器も自由に移動でき、体の動きで内蔵が痛まないようにできています。また、筋肉も他の動物より柔らかく、おなかや胸の壁も薄いので、しなやかに伸び縮みができ、どんな姿勢もとれるのです。

さらに猫は、このような柔らかい体の構造を自由にあやつることができるすばらしい脳と脊椎（中枢神経）や感覚器官が発達しています。猫は屋根や木から落ちても、また抱いていて落としても簡単に空中で身を翻して、足を下にして地面に立つことができるのです。

猫の筋肉はしなやかで薄いのですが、必要なときには、ほとんどの動物はかなわないものすごい力を出せるので、体の何倍もの高さや距離を飛んだりできるのです。

さらに猫は、大変しなやかで薄く、しかも丈夫な皮膚を持っています。皮膚の伸び縮みや移動性も犬よりも自由自在で、皮膚に余裕があるのです。首の周りは皮膚が厚くなっていますが、ここも皮膚をよく動かすことができますので、噛まれても痛みや苦しみを感じないようになっています。

（ダクタリ動物病院広尾病院院長、日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ会長）

《産経新聞2004年12月12日掲載》

猫の体

猫の体は人間や犬に比べると、胴体が長くしなやかで、曲げたり、ねじったりすることが容易にできます。それはなぜでしょう。猫の体にも、犬や人間と同じように、いろいろな骨があります。まず頭の骨、前・後足の骨などのほかに、脊椎（背骨）と呼ばれる骨があり、一列に並んで規則正しくつながっています。その中には、太い脊髄という神経が通り、そこから枝が出て、末梢神経が体中にはりめぐらされています。猫がいろいろな変わった姿勢を